

平成23年度
実施事業

事務事業名	橋梁長寿命化計画策定事業
-------	--------------

区分	No	名称
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる
施策	1	総合的な交通網の整備
小分類	1	道路網の整備・適正な維持管理
主要な施策	3	生活道路の改善・適正な維持管理
事務事業番号	018	事業開始年度 平成 22 年度 事業終了年度 平成 25 年度 会計種別 一般会計

部 名	都市整備部	グループ名	土木グループ
-----	-------	-------	--------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	高齢化橋梁の増大が見込まれる状況を踏まえ、橋梁の健全度を把握するための点検を行い、修繕等の計画を策定することにより、橋梁の長寿命化を図り、歩行者及び通行車両の安全確保することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	全体計画橋梁数 N=115橋(補助100橋、単独15橋) 平成23年度 橋梁点検 66橋(補助)
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	橋梁点検結果に基づき、橋梁長寿命化修繕計画を策定する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	道路法

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区 分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円	865	1,137	3,850		
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	962	932	5,550	2,050	
事業費 合計			1,827	2,069	9,400	2,050	0

指標の推移

《Check》

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	橋梁点検	橋	目標値	29	71	14		
			実績値	29	66			
	計画策定	橋	目標値			100	15	
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
橋梁の老朽化に伴い、近い将来補修や架替えに多額の費用が必要になることが予想される。	橋梁の補修や架替えを計画的に推進する「長寿命化修繕計画」を策定し、維持管理コストの縮減を図る。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 市が管理する橋梁の改修、維持補修に向けた修繕計画策定であり、民間に類似した事務事業がないことから、市が事業主体として実施することが妥当である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 高齢化橋梁の増大が見込まれる状況を踏まえ、橋梁の健全度を把握するための点検を行い、修繕等の計画を策定することにより橋梁の長寿命化を図る。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 橋梁長寿命化修繕計画を策定することにより、将来の改修工事費、維持補修費にかかる事業費のコスト縮減が図られる。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応により、橋梁の長寿命化によるコスト縮減が図られる。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	本事業は橋梁の長寿命化を目的とし、点検・計画策定を実施するものであり、将来の改修工事費、維持補修費にかかる事業費のコスト縮減を目的としていることから、本事業が完了して目的を達成するものである。
----	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
----	----